

第2回 南河内地域2町1村未来協議会 議事概要

【日 時】令和5年9月1日（金）第1部 18:00～19:00

第2部 19:00～20:00

【場 所】太子町立生涯学習センター3階研修室1、2

【出席者】田中太子町長 森田河南町長 南本千早赤阪村長 城間大阪府総務部市町村局長

【第2部のみ（オブザーバー）】吉村富田林市長 島田河内長野市長 古川大阪狭山市長

【第1部】

■議事概要

○中間まとめに基づき、各テーマの進捗状況を確認、今後の方向性について協議。

そのうえで、今後の議論の方向性について以下のとおり確認・合意した。

- ・2町1村が共同化して取り組めるところは、全て共同化していく必要。
- ・各テーマについて、引き続き検討を深め、取り組めるものから速やかに実施していく。
- ・合併についても選択肢の一つとして、議論は避けられない状況。

今後、合併した場合、どのような地域、まちづくりをめざすのか、南河内地域にとっての合併のメリットなど、府と2町1村職員で検討を深める。

- ・本協議会で合意した方向性に基づき、首長から担当職員への指示のもと、対応方策の実施に向けて積極的に取り組む。

【第2部】

■出席者発言

●府市町村局長：

お忙しいところお集まりいただき感謝。

第1部では、各検討テーマについて、本協議会における今後の議論の方向性をとりまとめることができた。

第2部では、その内容について、オブザーバーとして参加いただけた3市の市長のみなさまのご意見を頂戴し、本協議会での検討がさらに良いものとなるようにしていければと思う。

また、本協議会での検討内容の中には、近隣市のみなさまにも参加いただくことで、さらにより良い対応策となるものもある。ぜひ、連携可能なテーマについて、検討の議論に入っただき、南河内地域のさらなる連携につなげていけたらと思うので、よろしくお願ひしたい。

●太子町長：

まずは太子町までお越しいただき感謝。

2町1村では、人口を合わせても約3万人。この規模では、なかなか課題解決が難しい部分もある。3市に加わっていただいて、より広域的な視野で取り組みたい。今の時代に合った効率的な行政運営をどうしていけばよいか。これは各市町村共通の課題。その先には合併ということもあると思うし、どのような合併が良いのか、議論できれば良い。

●河南町長：

2町1村で協議会をつくり、これから人口減少時代を迎え、市町村のあり方はどうあるべきかを議論しているが、2町1村で解決できる課題もあれば、もっと大きな枠組みであればという課題もある。その先でどういうかたちがあるか。その一つの方策として合併という文字も出てくる。これまでも何回か合併についての協議もあったところだが、1つの考えるタイミングとして今があるのではないかと思う。

●千早赤阪村長：

平素は広域での事務処理にご協力をいただき感謝。第1部では、これまでの取組みの中間報告があり、引き続き積極的に取り組みたいが、枠組みを拡げることで効果が高まることもあるかと思う。3市も含めた取り組みに発展できればと考えている。

●富田林市長：

このたび、協議会にオブザーバーの参加機会を頂戴し、お礼。これまでも様々な形で連携協力してきたが、さらなる連携により、地域の発展のため、微力ながら皆様の成長と発展に寄与できればと思う。これは南河内全体の成長につながる取組みであり、地方創生のためには、広域連携が欠かせない。さらなる広域連携の取り組みについて研究・協議を行った先に、将来的な合併も選択肢の一つとして見えてくると考える。広域での取組みをさらに深めるため、有意義な時間となることを期待している。

●河内長野市長：

オブザーバーという立場なのに、発言権までいただいて感謝。河内長野市としては、オブザーバーという立場は維持したい。未来協議会はあくまで2町1村について議論する場であり、2町1村が広域連携の先に合併となるのかは、オブザーバーとして見守っていききたい。

たとえば、2町1村で文化ホールをなくして、3市のものを使うといった場合、一緒に議論できることもある。図書館などもしっかり。そうした3市を含めた公共施設の統廃合といった方向性はあるかもしれない。そういうときに協力できることはあるかもしれないが、オブザーバーという立場はわきまえて、議論を見守っていききたい。

それ以上に踏み込み、市を含めて合併を議論するというなら、別の場が必要と考える。

●大阪狭山市長：

オブザーバーとして参加させていただきお礼。本協議会の設置経緯、目的について説明を受けて、あらためて認識したのは、この協議会は南河内地域の成長発展の場ということ。その手段として、3市2町1村がしっかりと広域連携をするというのも手段。また合併も一つの手段。地域が成長発展するためには、連携がよいのか、合併がよいのか、様々な選択肢について一つ一つ協議しながら、できるものできないものを見極めていくのがこの協議会という理解。積極的に参加し、大阪狭山市としての発展、ひいては南河内地域の発展をめざしたい。

■議事概要

○中間まとめに基づき、各テーマの進捗状況や今後の方向性について説明。

○今年度は2町1村で報告書をまとめ、今年の年末を目途に公表。3市とは来年度の取組みに向けて改めて協議。

○一方でこれまでから3市2町1村職員による「南河内広域連携研究会」を開催し、連携に取り組んできたことから、3市の職員にはテーマに応じて、検討チームへの参加を未来協議会から依頼。

【各テーマの進捗状況・今後の方向性】

○専門人材の確保

- ・7月より事務職員等にかかる採用試験を共同で実施中。応募は一定数あり、第一志望のバラつきは少なかった。
- ・今後、専門職の採用試験の共同実施も検討。
- ・土木職の共同研修会や、採用予定者向けの交流会、退職予定者リストの共有化などについても今後検討。

○公共施設の最適配置

- ・文化ホールについて、今後近隣市を含めた共同利用を検討。

○自主財源の確保

- ・ふるさと納税について、共通返礼品の設定などを検討中。

○地域活性化

- ・府の主催する大規模イベントへの共同参加を検討中。
- ・地域の魅力向上には複数団体によるイベントの共同実施が効果的であり、令和6年度に新規・共同開催できるよう、今後予算措置を検討。
- ・公民連携デスクの設置について、2町1村での共同デスクの設置を今後検討。

○事務の共通化・共同化

- ・基幹20業務のシステム標準化により、各団体の事務フローが整理され、事務の共同処理の素地が整う可能性がある中、情報部門の共同化も念頭に、全団体が共通の方向性の下、今後各団体の現状や取組内容を共有しながら検討。
- ・これまで富田林市を中心に連携が進んでいる下水道業務について、業務そのものの共同処理にむけて、今後富田林市も含め検討。

○地域の未来予測（作成中・抜粋）

- ・2町1村版の完成に向け、引き続き作成するとともに、今後は3市の協力も得ながら、近隣市を含めた地域の未来予測の作成を検討。

○合併全国事例の研究・分析

- ・今後合併した場合、どのような地域、まちづくりをめざすのか、南河内地域にとっての合併のメリットなどを、今後府と2町1村職員で検討。